

PICK UP

this month's
THE HUMAN

太田ネフロクリニック
院長

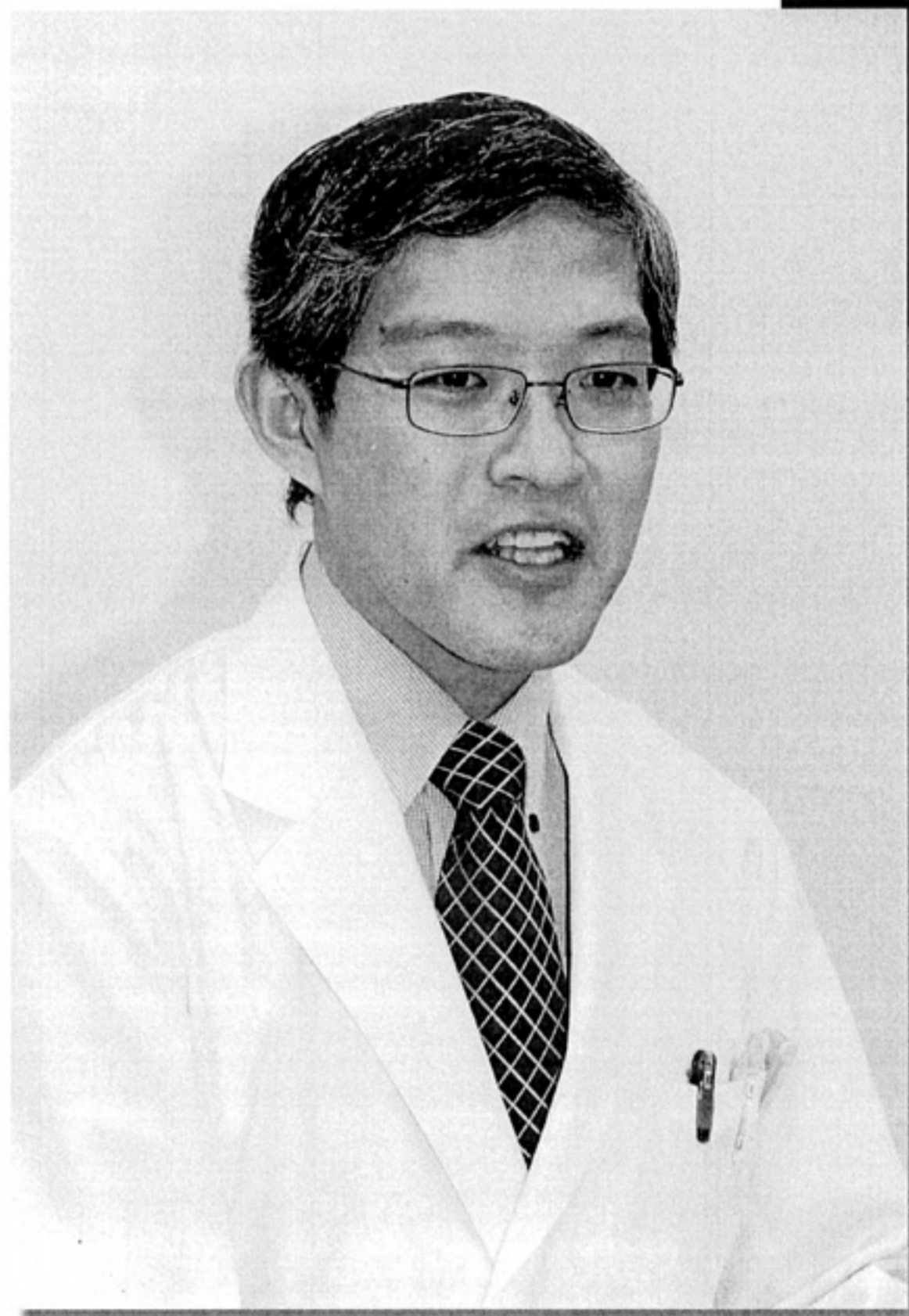
酒井 — Shinichirou Sakai — 伸一郎

KEY WORD

初志
— syoshi —

酒井院長が医師を志そうと思ったのは、まだ小学生のころだった。病気がちだった院長は、よく風邪をひいては昼夜問わず病院へ駆け込んだという。担当医は、そんな院長にいつも温かく、いつしか憧れの対象になっていった。時が経ち、院長は憧れを現実にし、日々多くの患者と接している。その上で大切にしているのが、全ての患者に「家族同然」の愛情を寄せること。それは、まさしく院長が子どものころに学んだ、医師としてのあるべき姿だった。「医師として歩み始めて十余年、その初志は一貫して大切にしてきました」。

院長の信念は何より自身の糧となり、今後も医師人生を末永く支え続けるだろう。



●対談記事は 106・107 頁に掲載

「患者様を“家族”のような存在として
最良の治療にあたっています」



太田ネフロクリニック

茨城県常陸太田市谷河原町渋井1丁目1660番
TEL 0294-80-5031 FAX 0294-80-5032
URL: <http://www.nephroclinic.net/>

酒井 都内の大学病院での勤務を経て、地域医療に携わるようになったことで、患者様の生活設計も含めた診療の重要性に気付いたのです。たとえば、糖尿病を患うコックさんに対して、「食べ過ぎに注意しましょう」と言ってもそれは酷いもの。コックさんにとっては食べることも仕事のひとつですからね。ですから、そうした場合は、この患者様はある程度食べられるということとを念頭に置いて適切な治療法を提案し、しっかりとコントロールできるように手を差し伸べていかなければならないので

酒井 都内の大学病院での勤務を経て、地域医療に携わるようになったことで、患者様の生活設計も含めた診療の重要性に気付いたのです。たとえば、糖尿病を患うコックさんに対して、「食べ過ぎに注意しましょう」と言ってもそれは酷いもの。コックさんにとっては食べることも仕事のひとつですからね。ですから、そうした場合は、この患者様はある程度食べられるということとを念頭に置いて適切な治療法を提案し、しっかりとコントロールできるように手を差し伸べていかなければならないので

患者に家族同然の愛情を注ぐクリニック

▼患者のQOL（生活の質）の向上をモットーとし、一人ひとりのライフスタイルにあわせた治療プランを提案している「太田ネフロクリニック」。酒井院長は、常に患者の声に真摯に耳を傾け、その要望に応えるべくソフトとハード両面において充実を図ってきた。たとえば、患者の高齢化を受けて、バスによる送迎サービスを開始。自力や家族の助けを借りても通院が困難という患者のために、自宅の玄関からクリニックまで無料で送迎しているのだ。また、夜間透析にも対応しており、緊急時には要請連絡から15分～30分以内に透析が開始できる体制がしっかりと整っている。そうしたことが実現できるのも、院長の「患者を家族同然に大切に」という信念に一切のブレがないからこそ。病棟が無かったスタート当初は、患者全員に自らの携帯電話番号を教え、緊急時にはすぐに対応できるようにしていたという。その心遣いがうれしくて、今院長のもとには多くの患者が訪れている。その心より安心した表情を見れば、患者もまた院長に家族同然の信頼を寄せているのが分かるだろう。

酒井流、診療の極意

- ✓ 親身な対話を重視
- ✓ QOLの向上に配慮
- ✓ 家族同然の愛情を注ぐ



酒井 伸一郎
院長

さかい しんいちろう

病気がちだった小学生時代に、親身に接してくれる医師の姿を見て、医師に憧れを抱くようになる。「昭和大学医学部」を卒業後、大学病院での勤務を経て、幾つかの医療機関で地域医療に携わりながら内科医としての経験を積む。その後、茨城県へ移り2006年に「太田ネフロクリニック」を開業。患者のQOLに配慮した診療スタイルで、多くの患者から絶大な支持を得ている。

**QOL(生活の質)の向上をモットーに
機能性と癒しを両立する院運営に徹し
個々のライフスタイルにあった治療を実践**

三ツ木 こちらは、2006年にスタートしたばかりながら、既に高い評判を集めていらっしゃるそうですね。まずは、施設の概要からお聞かせください。

酒井 当クリニックは腎臓内科を主要科目とし、主に慢性腎不全の患者様への透析治療を行う施設です。最新鋭の診断機器、治療機器を備えた万全のサポートシステムで、可能な限り安全で快適な血液浄化療法を行える環境を整えております。一方、安全で快適な透析治療は、ハードを充実させるだけでは不十分。安全な医療が提供できるためにはソフトの充実も大事です。言い換えると医師、看護師、技士が丸となった常態で研鑽を重ねることが肝要なのです。そのため、当院では透析技術認定士の資格取得を積極的に奨励し、資格保持者の割合は他の透析施設よりも高くなっています。また、透析治療は長年にわたり継続して受けなければならぬ治療ですから、どんな小さなストレスであっても積もり積もれば大きな苦痛になります。そのようにならないよう、当院では患者様との距離が近い地域医療だからこそ学ぶことができたと思っています。もちろん、生活環境に考慮した医療が必要なのは都会でも同じですが、遠方から電車に乗って大きな病院に來られる患者様の普段の生活習慣はなかなか見えにくく、そのため生活指導もどうしても画一的なものになりがちなのです。だからといって、それで良いというものではありませんから、今後は当クリニックの診療スタイルや私なりの考えを広くお伝えすることで、患者様のQOLにまで配慮した医療体系がもたらされたい前のものであればと思っています。

三ツ木 院長のお話を伺っていて、こちらが多くのお患者様から頼りにされている理由が分かったような気がします。

酒井 ありがとうございます。開業当初は今程の機器も設備もなく、また敷地も狭かったのです。それでも徐々に評判を呼んで来院者数が増え、手狭になったために新棟を増築するまでになりました。今ではその新棟も手狭になってきているんですよ。

三ツ木 では今後また増築を予定されていますか？

酒井 それは考えていません。というのも、私が一人で診ることのできる患者様の数は限界がありますし、お一人お一人の体調管理を大事にすることを考えますと、これ以上大きくすると対応し切れなくなってしまうからです。現在も60名を超えるスタッフ一人ひとりが、患者様の肉体的・精神的苦痛を緩和できるような対応に徹してくれているからこそ、目指すスタイルが実践できているのだと思っています。今後も皆で一丸となって、患者様に心の底から満足していただける医療を追求して参ります。



●ゲストインタビュー
三ツ木 清隆 (俳優)

「太田ネフロクリニック」さんは、広い敷地内の隅々まで清潔感に溢れていて、とても居心地良く感じました。ガラス張りの透析センターも明るく開放的な空間で、そうした施設の造り一つひとつからも患者様に対する配慮が窺えましたね。これからはたくさんの方に頼りにされると思いますが、健康にはご留意しながら患者様の期待に応えるクリニックであり続けてください」